中京大学広報

建学の精神
学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ

発行　中京大学広報部
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL（052）835-7111（代）
http://www.chukyo-u.ac.jp

名古屋キャンパス

新1号館、11号館着工

2013年3月完成

名古屋キャンパス新1号館の完成予想図。左奥は新11号館

中京大学は、名古屋キャンパスに図書館・学術ホールなどを備えた教育研究棟（新1号館）と管理研究複合棟（新11号館）の建設工事に七月から着手した。新棟には、構想中の工学部の一部学科が入る予定となっており、二〇一三年三月の完成を目標にしている。

図書館一新、学術ホールも

建設されるのは山手通に面した「校地Ⅰ」の東側で、老朽化のため解体された旧1号館（旧図書館）と旧11号館（旧本館）の跡地。

新1号館（延床面積一万五千八百二十四平方㍍）は、地下一階、地上七階建てとなる。低層階には充実した機能を備えた図書館本館を配置し、昨秋完成した図書館付属棟（八十万冊収蔵可能な自動書庫）と連結する。中層階には五百席収容の学術ホールをはじめ、学生の厚生施設、教室・ゼミ教室などの教育施設が入る。二〇一三年二月末の完成を目指している。

新11号館（延床面積八千五百四平方㍍）は、地下一階、地上十二階建て。学生ラウンジ、事務局のほか、教員ラウンジ、研究室などが入り、二〇一二年十月末の完成を予定している。新設二棟とセンタービルの間は、雨の日でも濡れずに移動できるよう二階部分で結ぶ空中歩廊を設け、既存の建物との一体化を図る。

名古屋キャンパスでは一昨年、「校地Ⅰ」の敷地が東側に拡張されたのに伴い、一帯を再開発する「C―EAST地区開発計画」を策定した。計画に基づき、「校地Ⅰ」から、法学部のある「校地Ⅱ」への通学路を整備したほか、屋外の憩いの場・セントラルプラザや駐輪場などを整備してきた。再開発の核となる新設二棟が完成すると、大学創立六十周年（二〇一四年）に向けた主要な教育・研究施設が整う。

起工式は七月八日に建設予定地で行われた。小川英次・梅村学園理事長は工事の安全を祈願した後、「二十一世紀の学園のシンボルタワーが誕生するのを見守りたい」と挨拶、北川薫・中京大学学長は「新たなシンボルができるのに合わせて、教職員ともに頑張っていきたい」と述べ、二棟新築への期待を寄せた。

施工業者は、学内に設置された建設業者選定審査委員会が指名見積参加業者の審査・選定を行い、見積金額と技術提案をもとに総合評価方式で判定し、選定した。（❽❾面に詳細）

オープンキャンパス

高校生ら8,253人

学部説明会、模擬講義に関心

高校生らにキャンパスを開放し、中京大学の教育内容や学習環境、キャンパスライフを知ってもらう企画「オープンキャンパス」が、七月十六、十七日に名古屋キャンパスで、九月十八日に豊田キャンパスで開かれ、計八千二百五十三人の高校生や保護者で賑わった。キャンパス別の内訳は、名古屋が六千八百八十八人、豊田が千三百六十五人。

最も関心が高かったのは、学びの体系、カリキュラムを中心とした各学部の説明会で、延べ五千七百二人が参加。模擬講義も人気で、学部授業の入門編や学生による研究発表など、様々な分野の講義を二千六百八十五人が受講した。

このほか、入試説明会、キャンパスライフ相談コーナー、各種ガイダンス、施設見学などにも多くの高校生らが足を運んでいた。（❻面に関連記事）

2012年度 入試スタート

本学の二〇一二年度入試が十月八、十五日、国際英語、国際教養、総合政策、情報理工学部のAO（アドミッションオフィス）入試でスタートした。

十一月には公募制一般、特Ⅰ、特Ⅱ、特Ⅲの各推薦入試が、十二月にはスポーツ科学部の公募制一般推薦とアスリートAO選抜が実施される。（❻面に関連記事）

公募制
一般推薦

願書締切は11月11日

推薦入試のメーンとなる公募制一般推薦（基礎学力型）は十一月二十三日に全学部で実施される。本学（名古屋キャンパス）のほか、全国十四の都市（東京、富山、金沢、松本、静岡、浜松、岐阜、豊橋、四日市、大阪、岡山、広島、松山、福岡）でも試験が行われる。願書の受付期間は十月二十一日から十一月十一日まで。

スポーツ科学部の公募制一般推薦（実技型）とアスリートAO選抜は十二月三日に、本学（豊田キャンパス）で実施される。願書の受付は公募制一般推薦が十一月十一日まで、アスリートAO選抜は十一月四日まで。

主な内容

❶新1号館、11号館着工／オープンキャンパス／入試スタート
❷❸「11学部の力」総合政策学部／高大連携授業／多言語パンフレット
❹❺主要公務員に142人合格／合格者が後輩にアドバイス／新司法試験に8人合格
❻「Net割」と入試日程／学生相談室だより
❼国際センターNEWS
❽❾新1号館、11号館の詳細「快適な学びの空間を整備」
❿⓫学生たちの学習・研究成果（受賞、発表など）／著書
⓬文化会通信
⓭世界陸上、世界水泳で本学関係選手が活躍
⓮科学研究費助成事業採択者
⓯保護者向け就職セミナー／オープンカレッジ書道展
⓰全国同窓会／カナダ支部設立

高大連携学部授業 附属高校2年生が受講

学生21人も協力 学習成果を発表

高大連携の学部授業が、附属中京高校進学コースの二年生二百二十人を対象に九月五、六日、名古屋キャンパスで行われた。

各学部が一日二コマ、合計四コマを用意。生徒たちは将来の進路や関心に応じて二学部・四コマの授業を選択して受講した。将来の学部選択に役立て、目標を持って学ぶ姿勢を身につけてもらうことを狙いとしている。

同日午後からは、附属高校の卒業生五人を含む在学生二十一人が、研究発表や資格取得、留学などの成果や体験談をプレゼンテーションした。

生徒からは「各学部の特徴や何を学ぶのかがよく分かった」「知識やスキルを身に付け、自分の可能性を広げることの大切さを知り、有意義だった」などの感想が聞かれた。

次回の高大連携学部授業は、二〇一二年三月に今回同様、進学コース二年生を対象に実施される。

附属高校2年生に学習への取り組みと成果について話す在学生

学部長インタビュー

由里 宗之 総合政策学部長

専攻分野　金融論

アイデア持ち寄り 研究者コミュニティを

「総合政策学部が開設して六年が経過。プロジェクト研究などの特色ある教育が定着し、成果が見えはじめてきた。いま一度、学部創設の原点に立ち返り、点検し、しっかりと根付かせていきたい」

「学生たちの学習や資格取得等への取り組みは、この二―三年、一生懸命というよりも必死である。就職難が将来への不安となり、追い込んでいる。学生としっかり向き合い、視野を広げ、なりたい自分に向けた活動を応援していきたい」

「地域、生きる場所を意味し、人との結びつきや希望を表す言葉でもある『コミュニティ』。アイデアを持ち寄り、自由な雰囲気で語り合う『研究者コミュニティ』を学部内に息づかせることも、学部長としての役割だと考えている」

8言語で本学紹介 海外での広報強化

本学を海外に広く紹介する「多言語版パンフレット」（写真）ができ上がり、二千部が配布された。

冊子は英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、中国語、韓国語、日本語の八言語で構成され、本学の歴史と教育理念、国際交流のサポート体制、学生のクラブ活動、図書館・研究所の横顔、オープンカレッジ・公開講座の社会貢献を案内している。

一言語一ページで十二ページ建て。各ページにはキャンパス内の様々な情景が写真で紹介され、親しみが持てるレイアウトになっている。

本学では英語版の「大学案内パンフレット」が制作されているが、八言語による「案内」は初めて。学長秘書室、国際センター、広報部が共同制作し、安村仁志副学長を通じて国際教養学部のネイティブ教員が翻訳・監修した。

パンフレットは英語圏以外の国からの留学生受け入れを増やすため、フランス・スペイン・ドイツ・ロシア・中国の五ヵ国に語学留学する国際教養学部生をはじめ、海外研修の派遣学生、引率教員らが行く先々で配布し、帰国する交換留学生には母国で配布してもらう。

広報部、国際センターに余部が常備されている。

社会人に向けて自信 基礎力グランプリ準大賞

寺本 春佳さん（4年） 宮川プロジェクト研究

私は三年次のゼミ活動で「大学内にあるイタリアンレストランの経営改善プロジェクト」に取り組んだ。現場の観察調査やアンケートを行い、顧客目線からの提案を店側に行った。

私のチームは価格の値下げを提案したが、最初は値下げの余地はないと却下された。諦めずに、利益の出る集客数と価格設定の仮説を立て、粘り強く交渉した結果、二週間限定の値引きキャンペーンが実現。この月の売上は約二〇％増加し、これをきっかけに新たな商品開発やキャンペーンを実施し、最終的に多い月で利益四〇％増加という成果を残した。

この経験を通じて、データを基に粘り強く働きかけ、チームで同じ目標に向かって協力したことに、

共に学び、共に刺激 個の成長は全体の成長へ

総合政策学部のプロジェクト研究は、三年生の十二月に行われる学習・研究成果の発表の場「プロジェクト研究報告会」に向け、二年の春学期から始まる。

報告会では、発表はもとより、大会の企画から運営のすべてを学生で構成された運営委員が担当し、審査員の選定や交渉、最終報告書の企画・編集を行う。ゼミでの学習は高校までの受動的な学習とは違い、自ら問題を発見し、解決までのプロセスを、

ゼミで発表する柳沢さん

学際的に、総合的に学ぶ

総合政策学部

11学部の力

総合政策学部は、企業・公共団体等の組織や、地域・国際社会等の様々な場面でリーダーシップを発揮できる人材の養成を目的に、二〇〇五年に開設された。ビジネス領域や公共領域を学際的に、総合的に学び、政策の企画・立案能力や、問題を発見し改善・解決する能力、社会で必要とされる広い視野と実戦能力を総合的に修得できる教育を展開している。

社会人基礎力を培う実践的な学習をゼミ教育に取り入れ、「プロジェクト研究」として二一四年次に開講している。グループ作業を基本とし、学生は指導教授と議論しながら課題を発見し、分析し、解決策を探っていく。一年以上かけてまとめあげた研究成果をプロジェクト研究報告会で発表し、説得力や実現性などを競い合う。

経済産業省の調査で、企業が学生に不足していると思う能力は、主体性（二〇％）が最も多く、次いでコミュニケーション力（一九％）、粘り強さ（一五％）の順になっている。総合政策学部の学生は、プロジェクト研究を通してこれらの能力を確実に高めていく。

学生たちはさらなる飛躍を目指し、学習・研究の場を外部にも求めている。コンテストへの応募、討論会への参加、産学連携の商品開発、企業・団体への提案など（上表）、積極的に挑戦している。

日々の暮らしの中で、様々な事柄に関心と疑問を持ち、「どうすれば改善できるか」と思考する。自然に身に付いていくこの思考が、学生たちの人間力を高めていく。総合政策学部の目指す教育の根幹である。

社会人基礎力を培う プロジェクト研究

緊張感と熱気に包まれたプロジェクト研究報告会本選

学生たちの挑戦と成果（2010―2011年）

産学連携

- キタムラジャパンと「携帯枕」「アロマ枕」を共同開発。2011/10/27発売（宮川ゼミ）
- 商品開発支援サイト「空想生活」で食器棚「大切な人に贈り棚」を提案。カテゴリー別2位（宮内ゼミ）

受賞

- ＮＴＴドコモモバイル社会研究所主催「ケータイ社会研究レポートコンテスト」入賞（坂田ゼミ）

外部で発表、提案

- 都市経済研究所主催「オープンフォーラム『国境・離島・海洋から考える新しい邦づくり』検討会議」で発表（佐道ゼミ）
- COP10関連イベントで研究発表とボランティア活動（小山ゼミ）
- 愛知県選挙管理委員会に「若者の投票率アップ策」を提案（市島ゼミ）

「将来なりたい自分」への実現に向け

社会科学系の総合的な教育

公共領域に関係する諸学問（政治学、行政学、法律学、経済学など）と、ビジネス領域に関係する諸学問（経営学、経済学、法律学など）とを、学際的に、総合的に学び、幅広い知識が習得できるカリキュラムを展開している。

多種多様な知のバックグラウンドを持った教員が揃っていることで、幅広い視野、多角的なアプローチによる問題解決能力を養うことができる。

キャリア教育

「将来なりたい自分」への実現に向けて、学び得た知識と幅広い視野をキャリア選択につなげるために、十分な教育とガイダンスを実施している。

一年次にキャリアデザインやプレゼンテーションなどのスキルアップ科目、二年次以降に社会人基礎力講座、データ解析など実践力を培う科目、海外留学や海外演習、国内外の企業・団体でのインターンシップなど、多様な科目を用意し、学生たちのキャリア形成を後押ししている。

プロジェクト研究報告会

全ゼミが参加する研究成果の発表会「プロジェクト研究報告会」は、学生たちにとって四年間で最大のイベントである。

一年以上かけてグループ作業で仕上げた研究成果を全十七チームで競い合う。二度の予選会を経て本選に出場した六チームは、外部審査員としてお招きした企業・役所の皆さんや、学長、教員を前に、最優秀賞を目指してプレゼンテーションする。

同報告会は、学生三十―四十人からなる委員会が企画運営を担当している。

総合政策学部のデータ

開設　2005年4月

学生数〈2011年5月1日現在〉
1年248人、2年251人、3年237人、4年272人、合計1,008人
男女比 男：女＝54％（548人）：46％（460人）

卒業者数　661人

教員数　専任17人（内訳：教授13人、准教授4人）

柳沢 保奈実さん（4年） 羅プロジェクト研究

↖より、前に踏み出す力やチームで働く力が身についたと思う。

また、三月に行われた「社会人基礎力育成グランプリ」に出場し、このプロジェクトの成果を大勢の企業の方の前で発表した。全国大会準大賞という評価を頂き、社会人に向けて自信をつける大きな一歩となった。この経験を生かし、自ら考え行動し、組織に貢献することができる社会人になりたい。

準大賞を喜ぶ寺本さん（右から2人目）

↖考え、教授はそっと手を差し伸べるのみという能動的なものである。問題を発見し解決策を考える。この力は日頃の生活や社会に出てからも求められている。

私がゼミに入って得た財産は仲間である。時に壁にぶつかり、互いにぶつかり、喜びに涙した日々の中で、私たちは「個の成長は必ず周りに影響を与え、全体の成長に繋がる」「共に学び、共に刺激し合うことで、共に成長し続ける」という事を学んだ。

学生生活も最後の半年となり、プロジェクト研究の集大成である卒論の制作に取り掛かっている。笑顔で卒業式を迎えられるよう、楽しみながら取り組んでいこうと思っている。

2011年度 主要公務員試験
現役合格142人
国家Ⅰ種は6年連続
国家Ⅱ種に29人

二〇一一年度主要公務員採用試験（国家Ⅰ種、国家Ⅱ種、国税専門官、地方上級職、裁判所事務官など）の結果発表が行われ、本学学生の合格者がほぼわかった。現役合格者数は、百四十二人（十月一日現在）と昨年度（百三十人）に比べ十二人増となり、資格センター主催の公務員試験講座等のサポートが着実に成果をあげている。

人事院などの発表を基に集計した結果、最も難関とされる国家Ⅰ種（法文系）には、二人が合格した。現役合格者を輩出したのは六年連続となる。東海地方の私立大学では昨年の五年連続合格が初めてだったが、この記録をさらに伸ばした。国家Ⅱ種（行政職）の現役合格者は二十九人（昨年度三十二人）だった。人事院が発表した既卒者を含む大学別の合格者数によると、本学の合格者三十三人は、東海地区の大学の中では、名古屋大学に続き二位だった。

地方上級職等には、五十六人が現役合格し、昨年の四十二人を大幅に上回る成果をあげた。自治体別では、愛知県が二十二人と昨年（十九人）より増え、東京都特別区が十九人（昨年九人）より倍増、名古屋市五人、静岡県三人、東京都、秋田県、滋賀県、宮崎県、岐阜県、静岡市、岡山市が各一人だった。

また、国税専門官は四十五人が合格し、昨年（四十人）より増えた。裁判所事務官は十人と昨年の十三人には届かなかったが、引き続き多くの合格者を出した。

主要公務員試験合格者数の推移（人）

	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
国家Ⅰ種	3	2	3	3	2
国家Ⅱ種	28	34	38	32	29
国税専門官	28	29	40	40	45
地方上級職等	21	19	29	42	56
裁判所事務官	4	8	3	13	10
合計	84	92	113	130	142

※資格センターの公務員講座を受講した現役学生のみを集計

対策講座 11月に説明会、12月開講

資格センターは公務員を目指す学生たちを支援するため、国家Ⅰ種、国家Ⅱ種、国税専門官、地方上級職、裁判所事務官が目標の「公務員対策講座①」と、警察官、消防官、市町村職員が目標の「公務員対策講座②」の二種類を設置している。

難関公務員を目標とする講座①は、毎年、二年生を対象に十二月に開講し、教養試験科目と専門試験科目を幅広くカバーしたカリキュラムを組んでいる。三年生の三月まで、一年四カ月にわたる講座で、四―六月に行われる一次試験（筆記）、五―八月の二次試験（面接）対策まで、講座の講師、資格センター職員が全力でサポートしている。

対策講座①の受講希望者への説明会は十一月に実施、開講は昨年同様十二月を予定している。対策講座②は五月開講予定。詳細は資格センターまで。

合格の6人　後輩へアドバイス

一番目指し競い合い 最適な勉強方法探す

経済学部　清水　基弘

国家Ⅰ種、国家Ⅱ種、裁判所事務官Ⅱ種、国税専門官、東京都特別区、静岡県庁に合格（進路先・東京都特別区）

様々な社会問題に関心があり、これらの解決にかかわっていきたいという思いから公務員を目指しました。

試験対策は長丁場でしたが、二年生の時、行政書士講座でともに勉強してきた仲間たちと競い合うことで、モチベーションを維持しました。私を含め弘道塾で学ぶ学生は「一番」に特別な思いを持っている人ばかりです。「一番」を目指し競い合う中で、自分の勉強方法はどんどん変わっていきました。一日二十四時間という限られた中で、最大の効果を発揮するために、勉強方法関連の本を読み、方法を試していきました。試験の種類や科目、試験日までの日数によっても最適な方法は異なり、常に改善できることはないかとアンテナを立てることも重要です。

公務員試験は勉強も大切ですが、人間性を高めるために、勉強だけでなくボランティア、サークル等の課外活動やアルバイト、新聞等による社会問題への関心も必要です。勉強しない日を週一日以上作り、学内だけでなく他大学や社会人、高齢者の方等自分より人生経験豊富な人と積極的に接して、学べることはどんどん吸収していきました。

本学には、資格センター、弘道塾等の公務員試験のサポート体制が整っています。目指す職場の先輩も多く、職員の方や先輩の話を聞くこともできます。「判断を誤らない」ための手助けになると思います。後輩のみなさん、最後まで全力で頑張ってください。

モチベーション維持 メリハリつけが大事

法学部　高木　春奈

裁判所事務官Ⅱ種、国税専門官、国家Ⅱ種、愛知県警、愛知県庁に合格（進路先・愛知県庁）

小学生から剣道を習っており、それを生かせる職業に就きたいという思いから、高校生までは警察官を志望していました。大学に入って、警察官以外にも様々な魅力のある職種を知り、改めて警察官も含め、公務員を目指すようになりました。

一次試験は、過去問題集を中心に勉強しました。初めの頃は、公務員対策講座で習った科目を中心に復習していましたが、直前期は忘れないようにすべての科目をまんべんなく解くようにしました。自分の勉強方法が不安になったときは、友人や先輩にアドバイスをもらい、また、諦めなければ大丈夫と励まされもしました。

一番苦労したことは、モチベーションの維持でした。やる気の出ない日は思い切って一日休んだり、勉強していても集中力が切れたときは友人と話し合ったり相談し合ったりしました。公務員試験は長丁場なため、メリハリをつけて勉強することが大事だと思いました。

公務員試験を乗りきることができたのは自分ひとりの力ではなく、友人、先生方、先輩や家族等の皆さんのおかげだと実感しています。特に仲間の存在は大きく、時に励ましあい、時に競い合ったことで、最後まで諦めずに頑張ることができました。

後輩の皆さん、最後まで諦めなければ絶対に結果は付いてきます。自分を信じて頑張ってください。

努力続ける強い意志 友人の応援が励みに

国際教養学部　鈴木　敬太

東京都特別区、国税専門官、愛知県庁に合格（進路先・愛知県庁）

私は元々、海外赴任や、国際的な仕事に就きたいという思いがありました。しかし、自分の住む自治体・地域の国際化を進めることも、グローバルに働く一つの選択肢だと考えるに至りました。また、日本の国際化や多文化共生社会を推進していくためには、外国人の多い地域で住民の理解を得ることが不可欠だと考え、国家系よりも地方公務員を志望しました。特に、愛知県には南米人が多いので、私の専攻するスペイン語を活かす機会があることも、愛知県職員を目指した動機の一つです。

公務員になるに当たって、多くの困難がありました。法律や経済などの学習経験が皆無だったので、理解するのに苦労しました。勉強時間を増やすために、サークル活動やアルバイトを休止し、娯楽の時間を削るなど、自分を追い込んだ生活を送っていました。

それでも最後まで目標を見失わずに頑張れたのは、愛知県で働きたいという執念と、友人の存在があったからです。友人と話すこ↖

苦手な面接試験対策 様々な人と接し克服

心理学部　永冶　彩香

国家Ⅱ種、国税専門官、東京都特別区に合格
（進路先・国家Ⅱ種国土交通省）

心理学部に入学した当時は、大学院に進学して臨床心理士の資格をとりたいと考えていました。公務員を目指すきっかけとなったのは、一年のときに公務員準備講座を受講したことです。人の生活環境のすべてに携わる仕事であることを知り、人を安心させ、困っている人の力になれる仕事であると感じ、公務員の仕事を魅力的に思うようになりました。子ども相談センターのような場所では心理学部で学んだ知識を生かして働くことも可能です。

行政・事務区分の専門科目の法律・経済・行政学などはゼロからのスタートでした。法学部や経済学部、行政書士の資格保有者には負けたくないと、対抗心を持って勉強に臨みました。

公務員試験は、一次試験の筆記試験に合格した後に面接試験があります。私は人前で話すことに苦手意識を持っていたため、面接試験がとても不安でした。そのため、ボランティア活動やインターンシップ研修に参加し、多くの人と話す機会を作りました。その結果、社会人の方と話すことに次第に慣れ、面接では堂々と経験を語ることができたと思っています。

いろいろ経験することも大切です。私もアルバイトやボランティアを通して成長し、出会った友達には支えられました。周りに目を向けてみると、自分のためになることが見つかります。身を成長させてください。後輩の皆さん、いろいろなことに飛び込んで、自分自

大きく変われる時期 大変を乗り越えよう

総合政策学部　今森　勝也

国税専門官、愛知県庁に合格
（進路先・国税専門官）

公務員は職種が多岐にわたり、仕事内容は多種多様です。その中で自分がなりたい職種、自分の長所を生かせる仕事を見つけることが必要です。公務員の職種、役割、仕事内容をしっかりと調べ、自分に合った仕事を探すことが重要となります。自分がなりたい職種、したい仕事が見つかれば、努力し続けることができると思います。

公務員試験を通して何事にも目標を持つことの大切さを学びました。目標を定め、達成するためには今何をしなければならないのかが明確に分かるからです。私の志望した職種の試験は専門科目の割合が高いため、早期から専門科目に重点を置いて勉強しました。さらに、「今日はこの科目を勉強しよう」「今月はこの科目を完璧にしよう」など短いスパンで目標を定め、計画的に勉強しました。その結果、第一志望に合格することができました。

公務員試験の勉強は一年以上も続く長丁場で、科目も多くとても大変です。大学の先生に教わったのですが、「大変」という字言葉には「大きく、変わる」という意味が略されているのだそうです。

後輩の皆さん。今この「大変」を乗り越え、大きく変わることができる時期なのです。目標を持ち、自分の力を信じて、最後まで諦めずに一生懸命取り組んで下さい。そうすればきっと今よりも大きく成長できると思います。頑張ってください。

集中できる学習環境 講師等の指導手厚く

国際英語学部　土方　真美

東京都特別区、名古屋市役所に合格
（進路先・名古屋市役所）

人と話すことや、人の世話をすることが好きなので、多くの人と関わって、多くの人の役に立てる公務員になろうと思いました。

時間数では誰にも劣らないように一日十時間以上、勉強しました。今振り返ると、疲れて集中できなかった時期もあり、もう少しメリハリをつけた方が良かったと反省点もあります。

中京大学の公務員講座は、勉強に集中できる環境や、やる気になる様々な条件が整っています。強い信念を持っていれば、いずれかの試験で良い結果が得られると思います。最大の魅力は、同じ目標に向かって頑張っている仲間たちの存在です。基本的に勉強は一人でやります。不安に押し潰されそうになった時、弘道塾では仲間たちの必死な姿が確認できるので、「不安なのは自分だけではない」と感じ、とても心強かったです。

公務員講座の先生方は、一次試験向けの講義だけでなく、二次試験向けの面接指導や集団討論指導にもしっかりと対応してくれます。講座の先生方や大学職員の方々のきめ細かな指導と手厚いサポートには本当に感謝しています。

高校時代は熱心に勉強しなかったので、公務員講座の仲間たちの勉強に対する姿勢を見て、勇気づけられた回数は計り知れません。この先の人生でも常に目標を高く持ち、尊敬できる人を見つけて、それに近づくために努力する姿勢を大切にしようと思います。

固たる意志を持つことが重要です。何がしたいのか、そのためには何をすべきかを考えて行動してください。諦めそうになった時は、仲間の存在が支えになります。頑張ってください。

新司法試験に8人合格

合格率20％

二〇一一年の新司法試験の結果が九月八日に法務省から発表された。本学大学院法務研究科（法科大学院）から三十九人が受験し、八人が合格した。合格率二〇・五％は七十四大学中二十四位。

合格者八人の内訳は男性七人、女性一人。今年三月修了生二人、二〇〇九年度修了生四人、二〇〇八年度修了生二人だった。平均年齢は三十一歳。三人が社会人経験者。出身学部は法学部四人、文学部二人、経済学部、理工学部、各一人だった。

池野千白法務研究科長は、「法科大学院生は本当によく頑張っている」、「合格率が昨年に比べ五％上がったが、単年度の結果で一喜一憂するものではない。今回残念な結果に終わった院生に対しても、次年度合格に向け全力でサポートしていく」と語っている。

5人に博士学位授与

本学は九月二十日、五人に博士学位（課程博士三人、論文博士二人）を授与した。経歴欄は順に現職（課程博士授与者のうち、本学大学院研究科二〇一一年度在籍は省略）、最終学歴、学位論文タイトル。

課程博士

博士（認知科学）
山田　雅之さん
総合研究大学院大学学融合推進センター助教▽本学情報科学研究科博士課程修了▽協調学習による自己調整学習スキルの獲得支援

博士（体育学）
稲見　崇孝さん
愛知医科大学医学部附属運動療育センター技術員▽本学体育学研究科博士課程修了▽下肢多関節筋に対するストレッチング

魏　燕玲さん
中国・青海民族大学助教授▽本学体育学研究科博士課程修了▽青蔵高原チベット族における体格・体力・生理機能と居住高度及び社会経済要因の関連

論文博士

博士（体育学）
王　沢峰さん
本学体育学研究科博士課程単位修得満期退学▽小学生ドッジボール選手における投球動作のバイオメカニクス的分析

神事　努さん
国立スポーツ科学センター契約研究員▽本学体育学研究科修士課程修了▽野球投手が投球した直球の回転と飛行軌跡に関する研究

2012年度入試も「Net割」実施

延べ2万人、9割が利用（昨年実績）

本学はインターネット出願の受験料割引「Net割」を昨年に引き続き、二〇一二年度入試も前期日程入試、後期日程入試で実施する。インターネットを利用して出願した場合は、全試験区分とも検定料が五千円割引される。

インターネット出願は、願書の記入漏れやミスを防ぎ、二十四時間出願できるため、受験生にとって確実で便利な出願方法。また、郵送による出願に比べ、受付処理が簡略化できることで経費が削減できるなど、大学側のメリットも大きい。削減した経費を、割引という形で受験生に還元している。

二〇一一年度一般入試とセンター試験利用入試で、インターネット出願を利用した志願者は延べ二万人で、志願者の九割に上った。入試センターは「一層の経費節減と利用者への還元を目指し、二〇一二年度入試はさらに利用率を上げたい」と話している。

Net割には、A方式（三教科型、二教科型）とセンター試験利用方式（三科目型、四科目型、五科目型）の両方に出願する場合に限り、さらに検定料が割引されるケースもある。詳しくは受験生向けサイト「Net Campus」へ。

二〇一二年度入試のインターネット出願期間は上表の通り。

インターネットから出願するだけで
全入試方式検定料 5,000円割引
中京大学 Net割出願

前期日程入試

願書受付1月6日から

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日
A方式（3教科型）	1月6日～1月24日	2月5、6、7、8日	2月18日
A方式（2教科型）			
M方式（3教科型）	1月6日～1月16日	2月1日	
M方式（2教科型）			
得意科目重視型センタープラス方式	1月6日～1月24日	2月9日	

センター試験利用方式

3科目型	1月6日～1月16日	本学独自の試験は課さない	2月18日
4科目型	1月6日～2月2日		
5科目型			

オープンキャンパス

「自分にあう学部選びの参考に」「学生の研究発表が素晴らしい」

七月十六、十七日、九月十八日に行われたオープンキャンパスでは、受験生や保護者の皆さんに十一ある学部（本学は全国でも九番目に学部数が多い大学）の教育の特徴や学習支援を理解してもらうために、学部別に説明会を実施した。

より詳細を知りたい受験生には、教員や在学生と面談できる学部別の相談コーナーで対応。模擬講義は入門編や専門知識を社会でどう生かすかなど、学部または学科別に行った。

参加した受験生からは、「各学部の取り組みが理解できた。自分にあった学部選びの参考にしたい」「相談コーナーで在学生から学部の授業や学生生活についての説明を受け、大学生活がイメージできた」「将来を考えるきっかけになった」などの感想が寄せられた。

また、「学生の研究発表が素晴らしかった」「丁寧な対応だった」「活気があった」など、在学生の学習成果や当日の対応への評価が高かった。

㊤受験生でにぎわった総合案内のあるガレリア（7月16日、名古屋キャンパス）
㊦教育の特徴等が説明された学部説明会（9月18日、豊田キャンパス）

学生相談室

〝悩み　抱えないで〟
カウンセラー常駐、利用を

ゼミで孤立していたり、精神的に不安定な兆候が見られたり…そんな学生への対応方法を振り返った「二〇一一年 中京大学 学生相談室だより」が作られ、教職員に配布された。

「学生相談室だより」作成

相談室が一年間を振り返り、事例をもとに教職員が取るべき対応のポイントなどを紹介している。学生の悩みを理解し、問題を解決するのが目的だ。

学生相談室では、訪ねてくる学生の話を聞いて、職員による「一般相談」とカウンセラーによる「心理相談」に分けてサポートしている。

「一般相談」は、休学・退学、学業、進路、課外活動、経済、家族の問題や学生生活上の悩み、キャンパスハラスメントなど、『誰かに話を聞いてもらいたい』という相談。

「心理相談」は、わけなく悲しくなったり苦しくなる、眠れなかったり食べられない日が続く、何もかもおっくうで大学に行きたくない、自分の居場所がない、人目が気になり講義に集中できない等の相談で、臨床心理士が対応している。

相談者数は別表の通りで、学生相談室によると、近年、自信を喪失している学生、対人関係に苦悩している学生が増え、とりわけ「友人ができない、友人とどう関わればいいのか分からない、やりたいことが見つからないという悩みの訴えが多くなっている」という。

学生相談室では、一緒に昼食をとる「ランチの集いや、昼休みの居場所となる「フリースペース」、人間関係の感覚を身につける「グループワーク」の場を設け、悩んでいる学生が孤立しない環境づくりに取り組んでいるほか、カウンセリングを通じて具体的なアドバイスや支援ができる体制を整えており、気軽に利用するよう案内している。

相談者数（延べ）

		2008年度	2009年度	2010年度
心理相談	名古屋	491	524	863
	豊　田	749	529	514
	計	1,240	1,053	1,377
一般相談	名古屋	117	151	388
	豊　田	374	520	644
	計	491	671	1,032

気軽に相談を
平日9時～17時
名古屋キャンパス
☎052-835-7861（内線2432）
豊田キャンパス
☎0565-46-1232（内線2800）

新任事務職員

（部署、名前、出身大学）

9月1日付
人事部人事課
高田　祐介（たかだ・ゆうすけ）▽三重大

10月1日付
情報システム部
築山　暁仁（つきやま・あきひと）▽金沢大

国際センター NEWS

今年度の交換留学
受け入れ　派　遣

交換留学、セメスター留学 計51人が出発

夏季休暇期間中の八月、交換留学生十七人、セメスター留学生三十四人が留学先に旅立った。

今年度の交換留学生は、二月からオーストラリアに留学中の学生を含め計十八人。方面別では、アメリカ十二人、フィンランド四人、オーストラリア、オーストリア各一人。学部別では、国際英語学部十四人、国際教養学部二人、文学部、法学部各一人で、法学部からは初めて。

今年度の特徴は派遣される十八人のうち九人が二年生であったこと（昨年度三人）。就職活動の影響から、早期の留学を希望する学生が多くなってきたようだ。

セメスター留学の派遣も昨年度の二十四人から十人増え、留学先も従来のカナダ二大学、アメリカ一大学に、今年度からイギリス・イーストアングリア大学が加わった。グローバル化の中、語学力の高い学生を求める企業が増えており、国際センターではより多くの学生にセメスター留学への挑戦を薦めていく方針だ。

2011年度交換留学生 秋受け入れスタート

二〇一一年九月から交換留学生の秋学期受け入れが始まった。海外から受け入れた交換留学生はこれまで最多の二十七人。出身国はアメリカ十八人、フィンランド三人、フランス二人、ハンガリー、メキシコ、チェコ、オーストラリア各一人。

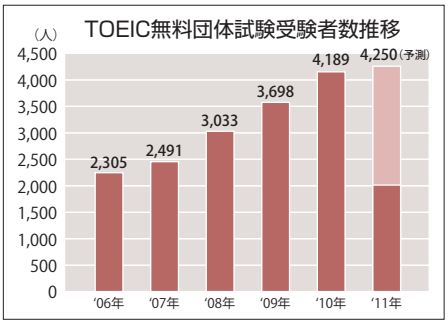
十月からは、交換留学生と気軽に会話を楽しめる「留学生と話そう！Let's 国際交流」が名古屋・豊田両キャンパスでスタートした。留学生たちも中京大学セミナーハウスでの留学生交流会やティーパーティーなど様々なイベントを通して日本の文化や慣習を学んでいくことになっている。

名古屋城を訪れ日本の文化を学ぶ留学生

2011年度 第1回 TOEIC 無料団体試験実施

二〇一一年度第一回の試験が五月に行われ、名古屋、豊田両キャンパスで計千九百八十九人が受験した。

年二回実施のTOEIC受験者は、学生の意欲の高まりを反映して毎年前年を上回り、昨年は年間四千人を突破。スコアも毎年上がり、今回の受験者平均点は468点（前年45 1点）。900点以上の高得点者は八人（前年四人）で、最高点は960点（前年920点）だった。



変化に挑戦しよう
—引率を振り返り—

夏季休暇を利用したカナダ、オーストラリアへの海外短期研修（国際センター主催）に十学部の学生四十七人が参加した。全体で前年を十五人上回り、学年別では三年生が前年比十四人増の二十三人だった。学生たちは今回も多くの「気づき」を得て帰国した。引率した教務課職員に研修を振り返ってもらった。

海外短期研修に47人

各国留学生との交歓会でダンスを披露する本学の留学生（カナダ・ビクトリア大学で）

カナダ

教務課
溝口 貴則

カナダ研修（ブリティッシュ・コロンビア州・ビクトリア大学）には過去最多の三十六人が参加し、八月中の約十日間を引率した。

〝環境変化で積極性〟

この研修は海外大学体験プログラムとして位置づけられ、午前中に能力別の語学授業、午後に課外活動を行い、学生寮で生活する。

学生の参加目的の多くが「英語能力向上」はもちろん、「積極的・主体的に行動できるように」等、自分を変えるきっかけにしたいというもの。私は、彼らがどう「変化」していくかに焦点を当てて引率した。

正直なところ、事前研修の彼らが積極的であったわけではない。しかし、その後四週間にわたり、日本とは異なる環境に身を置いたことが次第に「積極性」をもたらしていったようだ。

語学授業や課外活動でコミュニケーションを取る姿、また、ビクトリア大学関係者に学生の様子をヒアリングした結果からも彼らの日増しの成長が窺い知れた。

同窓会カナダ支部発足の懇親会に出席し、現地で活躍する先輩のアドバイスや体験談を聞くことができたのも彼らには有意義だった。

引率の立場ではあったが、彼らを見ていて、積極さがもたらす変化の大きさと、変化し続けることの大切さを教えられた。

学生たちはそうした機会を経るごとに、今後の生活において目標を持って学ぶことの「気づき」を得たように思う。

私自身が感じたのは、四年間を有意義で充実したものにするために、どんなことであっても果敢に挑戦することが最も大切だ、ということである。チャレンジすることで得られるものはきっと大きいはずだ。

中京大生の中には「留学なんて関係ない」と考える人もいるだろうが、「海外」「世界」に少しでも興味があれば、国際センターを訪ねてほしい。挑戦する何かが見えるはずだ。

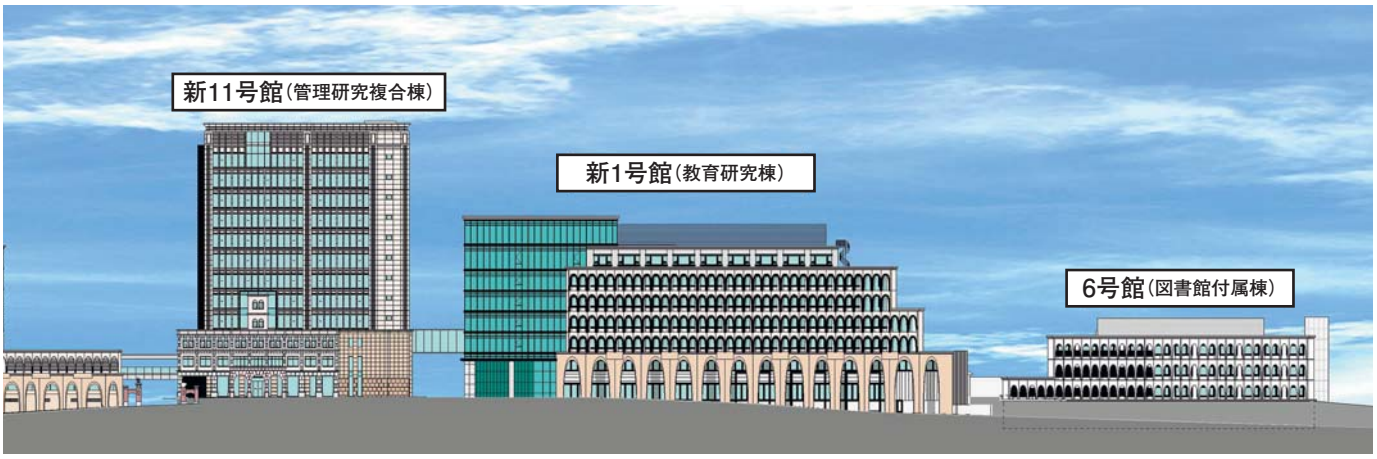
オーストラリア

教務課
加藤 浩二

八月二十日から約二週間にわたるオーストラリア研修には、七学部から、大半が三年生の十一人が参加した。就職活動が厳しさを増すこの時期に、敢えて参加した彼らの多くはその目的を「これから始まる就職活動に備えて視野を広げたい」「英語力を磨きたい」と話し、研修を〝就活〟のバネにしたい、との思いが伺われた。

〝企業訪問で「気づき」〟

研修はシドニー大学での英語授業と、「花王」「コマツ」など企業八社への訪問が柱になっている。訪問先で学生たちは日本人ビジネスマンの生の声に触れ、英語の必要性やコミュニケーションの重要性を再認識したようだ。就職活動に向けたアドバイスをもらい、大きな刺激を受けていた。



2013年春に完成へ

名古屋キャンパスで建設が始まった教育研究棟（新1号館）と管理研究複合棟（新11号館）の二棟は、学生ラウンジを随所に配置するなど、くつろぎの空間にも配慮し、学習や交流に最適な環境を創り出す計画になっている。

二棟と既存の建物とは空中歩廊でつながれ、雨天でも建物間をスムーズに行き来できる。管理研究棟とセンタービルに隣接して、屋外の憩いの場となるセントラルプラザも整備される。大学創立六十周年（二〇一四年）の大きな節目に向けて、「未来に向けた滞在型キャンパス」が二〇一三年四月に誕生する。

学生の要望反映

新1号館

新1号館は、旧図書館の跡地に、地下一階、地上七階で建設される。図書館本館が一、二階、学術ホールが三、四階に入り、一―五階吹き抜けのアトリウムが設けられる。

このほか、一階はエントランスホール、カフェ、二階は学生食堂、書店、三―七階は教室という構成になる。教室は二十四席のゼミ教室から約三百席の大教室までであり、コンピューター演習室も四階に設けられる。机やイス、照明などの学習環境はFD委員会の授業評価アンケートに寄せられた学生の要望を反映させる。

また、三―七階の各フロアの南側には学生用のラウンジが設けられ、休憩や交流の場所となる。

新設2棟（手前）と周辺の立体模型を見る学生たち。施設の完成に期待を寄せている

光が降り注ぐ空間となるアトリウム

工学部設置を構想

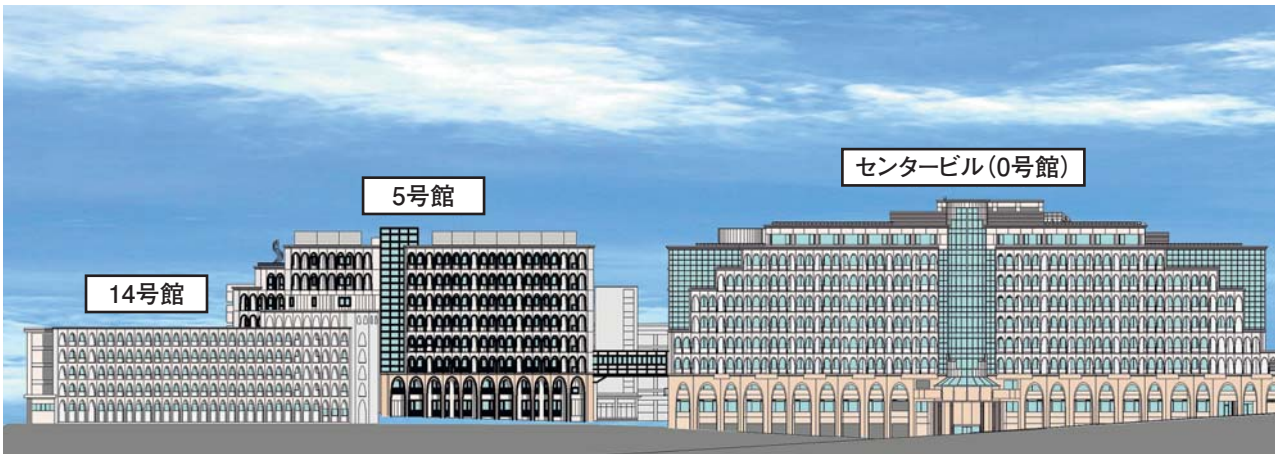
新11号館

新11号館は、旧本館を取り壊した跡地に、地下一階、地上十二階で建設する。現在、構想を進めている工学部の一部学科の研究室が入る予定になっている。低層部の外観は、歴史を刻んできた旧本館のイメージを残すことになっている。

地下一階は駐車場と防災センター。地上一、二階はエントランスホール、学生ラウンジ、三―七階は研究室や教員ラウンジ、八階は会議室、九―十二階は事務関係の部門が入る。

センタービルからの空中歩廊は二階につながり、隣接する新1号館への空中歩廊は三階に設けられる。

旧本館跡地に建つ地上12階建ての新11号館



山手通りに面した施設の配置。センタービルの右側に新11号館、新1号館が立ち並ぶことになる

未来へ　滞在型キャンパス

快適な学びの空間を整備

名古屋キャンパスの施設の配置図

学術ホール

同時通訳室、国際会議も

新1号館の三、四階に開設される学術ホール（五百人収容）は、学会や公開講座、シンポジウムなどに対応した本格的なホールとなる。

ステージには大型のスクリーンが設置され、国際会議が可能な施設として、同時通訳室も備える。

図書館

連結、収蔵大幅アップ

ITコーナー、グループ学習室も充実する図書館

新1号館の一、二階に設けられる図書館は、昨年九月完成の図書館付属棟と連結し、従来よりも収蔵能力が大幅にアップされる。ITコーナー、グループ学習室、コモンスペースなども充実し、「滞在型の図書館」として一新される。

閲覧エリアは、一般閲覧席百五十一席、個別的ブース百二十二席をはじめ、PC利用席三十六席、コモンスペース四十八席、ITスペース五十席、グループ学習六十六席など計四百七十五席が設けられる。

書庫エリアは、開架約十三万冊、準開架約十万冊などのほか、東海地方の大学で初導入された自動書庫（約八十万冊）が付属棟に整っている。

セントラルプラザ

セントラルプラザは、センタービルと興正寺公園の間の屋外に整備される。現在はコンクリートの状態だが、花や木を配するほか、床面にはソフトな木質系の素材を使用する予定だ。

興正寺公園の豊かな自然を満喫しながら、休息や語らいができる憩いの空間となる。

環境対策

太陽光発電や地中熱を利用

新設する二棟は、太陽光発電、井戸水や地中熱の利用など、環境に配慮した様々な工夫を取り入れた「エコキャンパス」を目指している。

太陽光発電は、2号館の屋上に太陽光パネルを設置し、新11号館に電力を供給する計画となっている。また、新たに二本の井戸を掘り、散水や洗浄用に使うほか、ろ過により飲料水としても使う。災害時用の水インフラとしての活用も検討している。

地中熱は、新1号館に接続する6号館（図書館付属棟）の地下ピットの地中熱を活用する。夏季は冷気、冬季は暖気を新1号館の空調機に取り入れ、冷暖房使用エネルギーを低減する。

省エネのため、教室には窓際の照度を落とす調光式照明を採用するほか、トイレには人感センサーやLED照明を設置する。

法学部

古川ゼミ生が現地調査

「北方領土問題」テーマに

法学部古川（浩司）ゼミの二、三年生二十人が、八月三十一日―九月六日、北海道の根室市、札幌市などにある北方領土やアイヌ問題を取り扱う関係機関に赴き、「北方領土問題が解決しない最も大きな理由は何か」などのヒアリング調査を実施した。

調査の結果、根室市長や元島民、関係機関の方から、文献資料やインターネットから得られない事実や問題点を聞くことができた。中でも「国民総意で返還要求に臨まない限り領土問題は解決しない」という切実な声が印象に残っている。

根室市長から説明を受ける古川ゼミ生

驚いたことに、私たちの調査の様子は、現地のテレビニュースや新聞でも取り上げられた。

今回の調査は元々二年生のゼミ活動として実施されたが、私たち三年生も調査結果を踏まえ、来る十二月に開催される名古屋国際関係合同ゼミナールで、北方領土問題について発表する予定である。

（法律3・藤田　紘平）

文学部

学部生の教育実習報告会

卒業生の教員がアドバイス

文学部生の自主的な研究会の一つ、国語教育研究会主催「教育実習報告会」が七月三十日、名古屋キャンパスで開かれた。

太田卓也さん、得能智恵美さん、増田祐希さん、佐藤ゆりあさんの四人が、現役で教職に就いている文学部卒業生や、二・三年生を前に、「指導案を三十回以上も練り直した」「生徒たちに考えさせることが大切。誘導的にならないよう工夫した」など、苦労話や教育の難しさを報告した。

卒業生で教員の堀口奈名子先生、小川浩先生から「教育は愛情の奉仕活動」「授業は生き物」などの格言とともに、それぞれにアドバイスが贈られた。

来年の教育実習に向け、どういった姿勢で教壇に立つかなど、今日の四年生の報告と卒業生のアドバイスを参考に、じっくりと準備を進めていきたい。

（報告会委員・言語表現3・坂本　苑美）

教育の難しさを報告する佐藤さん

総合政策学部

社会の問題・課題を共感

インターンシップ報告会

総合政策学部の専門科目「社会人基礎力講座公共編」の受講生は、第三回ソーシャル・ビジネス・エコシステム創出プロジェクト「共感創出型インターンシップ報告会」を九月十五日、名古屋キャンパスで開催した。

報告会は社会の問題・課題に取り組む企業やNPO団体等のインターンシップに参加し、感じ取ってきた団体の思いや隠れたメッセージを発表し、同じ大学生に共感してもらうことを目的としている。

最優秀共感賞のチーム「あやもじゃ」

今回は「わくわくドキドキ共感シアター」をテーマに運営を行った。インターン先で知った社会問題を8チーム21人が発表し、参加者に思いを伝えた。私たち自身はもちろん、参加した学生たちが、今後の社会を動かす力になれたらいいと考えている。

（報告会運営委員幹事　総合政策3・吉村　将成）

情報理工学部

精密工学会SS優秀発表賞

斎藤 正孝さん（機械情報4）

情報理工学部機械情報工学科四年の斎藤正孝さんが、八月三十日、精密工学会サマーセミナーで優秀発表賞を獲得した。同賞は画像処理技術に関する研究で優秀な研究発表を行った若手研究者に贈られ、今年度は二十九件の中から二人が選ばれた。

受賞発表名は「時空間的共起性分析に基づく有効参照画素を用いた高速・安定テンプレートマッチング」。画像処理による対象物の認識成功率が九六・六％と高い点と、工場の生産ラインなど幅広い応用が期待できる点が評価された。

斎藤正孝さんは「アルゴリズム（計算手順）の設計や実験装置の開発に苦労した。今後は国際会議等の大きな舞台での発表を目標にしたい」と話した。指導教員の橋本学教授は「企業の研究者から実用性の面で高評価を得た。今後も実用化を意識して研究を深め、産業界に通用する強い人材に」と激励した。

受賞を喜ぶ斎藤さん

情報理工学部

CADコンテスト優勝

長谷川・瀧研究室医用画像チーム

情報理工学部機械情報工学科の長谷川純一教授・瀧剛志准教授の研究室の医用画像チームが、日本医用画像工学会大会主催の第三回CAD（画像診断）コンテストで優勝。八月五日に表彰式が行われ、賞状と副賞十万円が贈られた。

課題は「腹部CT像からの肝血管腫の自動検出」で、CADプログラムの性能を競った。中村元哉さん（情報システム工学科4年）が実施担当者を務め、院生の協力で今大会に臨んだ。中村さんは「引き続き研究を進め、抽出精度をさらに高めたい」と話している。

指導教員の長谷川教授は「肝血管腫という難しい対象だったが、学生たちはプログラムに改良とテストを重ね、果敢に挑戦してくれた。医療関連企業から、わが社に欲しい逸材と言われたことが嬉しかった」と語った。

長谷川研究室の中村さん（左から2人目）、長谷川教授（右端）

「教育奨励賞」192人

教育後援会　成績優秀者を表彰

教育奨励賞を授与する杉野会長(右)

中京大学教育後援会（杉野邦廣会長）は六月二十一日、名古屋キャンパス・ヤマテホールで各学部学科の成績優秀者百九十二人に「教育奨励賞」を授与し、表彰した。

学生たちの教育・学生生活を支援している教育後援会は二〇〇三年、学業成績の優秀な学生を表彰し、修学意欲の高揚を目的とする「教育奨励賞」の制度を設け、一、二、三年の各年次に修得した科目の成績評価が高い学生（各科の上位者三～五人）に表彰状と奨励金を授与している。

授与式で杉野会長は「表彰を励みとして一層、学業に集中してほしい」と挨拶。北川薫学長は「精神的に自立した一人の人間として目標に向かってほしい」と激励した。

後輩の就職支援　学生アドバイザー

「自分自身の成長にも繋げたい」

内定を得た四年生二十六名が後輩の就職活動を支援する学生アドバイザーを十月から始め、三月中旬まで名古屋・豊田キャンパスのキャリアセンターで活動する。業界別の説明会や一、二年生向けのモチベーションアップセミナーなどのイベントの企画と運営、業界別の新聞のスクラップ作成などを行い、後輩をサポートしている。

私たちが就職活動をしていた時に、先輩方の「自己分析は早い段階から徹底的に」「様々な経験を積むことで、自信をもって面接に臨める」などのアドバイスが非常に参考になった。次は自分たちが後輩をサポートしたいと考え、成功事例や反省点などの経験を伝え、役立ってもらいたいと思っている。

企画を議論する学生アドバイザー（池本さんは左から2人目、瀬戸さんは3人目）

一方、アドバイザーをすることで、コミュニケーション能力の向上やイベントの企画・運営での計画力、実行力や他人に働きかける力などの社会人基礎力を身に付け、自分自身の成長にも繋げたいと考えている。

名古屋・豊田両キャンパスに二十六人のアドバイザーが在籍し、より効果的な支援ができるように、議論し合い、反省会を行い、日々取り組んでいる。後輩に気づきを与えられるアドバイザー、後輩たちが悩みや不安を気軽に相談できるアドバイザーを目指している。

（総合政策4・瀬戸　賢一、心理4・池本　沙紀）

Works Published

著書紹介

スペンサーとその時代
コリン・バロウ著
小田原　譲子訳

ヨーロッパの文学的伝統を受け継いだルネサンスの詩人スペンサーは、濃密に歴史的であると同時に歴史の彼方にあるような、いくつもの顔を持つ『妖精の女王』を辺境の地で書いた。本書は詩の二つの側面がいかに結合し相互に作用しているかを論じた気鋭の評論の翻訳である。時代背景の理解に役立つ詳細な訳注付。著者は現在オックスフォード大学で教える。

訳者は国際教養学部教授。南雲堂刊。税込四、二〇〇円。

シリーズ　行動計量の科学9
非計量多変量解析法
村上　隆他著

量的データの分析方法である主成分分析と、質的データに適用される多重対応分析の間の数理的関係を解明し、加えて、後者に適用できる負荷行列の回転法を提案してその応用事例を示した上で、2値データの分析方法にも言及している。

いわゆる記述的多変量解析の方法の一般向け解説書というよりは、当該分野の研究者への問題提起の書である。

健康・スポーツ科学テキスト
機能解剖・バイオメカニクス
北川　薫編

「健康・スポーツ科学テキスト」シリーズの初刊。「総論」「動きの基本」「全身の動き」「中高年齢者の動きの特性」の四節から構成され、運動・スポーツ科学および理学療法の専門家が、分かりやすく解説している。対象は、体育学・スポーツ科学系および健康科学系の学生、健康運動に従事する保健師、管理栄養士といった運動指導にかかわる専門家である。

編者は学長・スポーツ科学部教授。文光堂刊。税込三、一五〇円。

誰でもできる かんたん健康法
「ラジオ体操」でからだが若返る！
湯浅　景元監修

「ラジオ体操」を行うことを著者は勧める。多くの日本人に普及していること、特別な器具や施設を必要としないこと、そして全身運動であることが理由である。著者にとって三冊目となる「ラジオ体操」に関する本を出版した。今回は体力低下克服をめざす五十歳以上の人を対象に、ラジオ体操での適切な体の動かし方を紹介している。

監修者はスポーツ科学部教授。洋泉社刊。税込八八〇円。

協同学習入門
基本の理解と51の工夫
杉江　修治著

小学校から大学まで、考える力、話す力、対人関係能力など、新しい教育で求められている学力を育てる手立てとして、協同の学びへの関心が高まってきている。しかし、適切な入門書が少なく、実践的な悩みが多いという実態がある。本書は、協同原理の理解から始まり、効果的な進め方の具体的な手法まで、実践と研究の成果を踏まえて紹介している。

著者は国際教養学部教授。ナカニシヤ出版刊。税込二、八九〇円。

協同教育実践資料14
すべての子どもの高まりを促す協同の学びの追求
杉江　修治他監修

本書は二〇一〇年度の犬山市授業研究会に集う教師たちの、一年間の八つの研究的実践の成果をまとめたものである。犬山市内十四の学校の教師たちは、校種を越えたグループを編成し、共通課題を設定し新しい実践を作り上げていった。小・中連携の共同研究の試みとしても興味深い。

監修者は国際教養学部教授。犬山市授業研究会に二〇〇一年度から助言してきた。一粒書房刊。税込二、六二五円。

文化会通信

中京大学フィルハーモニー交響楽団

団員を募集中

中京大学フィルハーモニー楽団が、六月に発足した。ただ今、団員募集中。

オーケストラと聞いて難しいと思うかもしれないが、現団員のほとんどがオーケストラ初挑戦なので、初心者も大歓迎。3年以上のブランクがある団員や楽器も初心者という団員もいる。

立ち上がったばかりの楽団なので、苦労も多いと思うが、みんなでひとつのものを作り上げていく喜びを味わいましょう。

（英米文化4・日比　理貴）

4大学で清涼茶会 テレビ塔で振舞う

茶道部は愛知大学、金城学院大学、名古屋大学と合同で八月五―七日、清涼茶会を開催した。今年は「縁側」をテーマに行い、二百二十二人のお客様にお越しいただいた。

一畳ほどの日本庭園を意識した庭を作り、水指などのお点前のお道具も涼しげな色のものが揃えられた。地上百メートルの名古屋テレビ塔スカイバルコニーで、私たちのお点前と、お茶やお菓子を楽しんでいただいた。

清涼茶会は毎年恒例で、他大学と交流できる良い機会となっている。

（部長・日本文学3・八木　瞳）

名古屋テレビ塔スカイバルコニーでのお点前

読売書法展「秀逸」 大学生書道展「大賞」

第二十八回読売書法展で、書道部の真野沙織さん（総合政策3）が調和体部門で秀逸を獲得したほか、四人が入選した。入選作品は九月十四―十九日、愛知県産業労働センターウインクあいちで展示された。

入選は、和泉宏直さん（経済4）、塩田明里さん（言語表現3）、豊嶋彩夏さん（同2）難波佑気さん（日本文学2）。

◆

第十六回全国高校・大学生書道展では、和泉宏直さんが最高賞の大賞を獲得したほか、二人が書道展賞に選ばれ、八月二十三―二十八日、大阪市立美術館で展示された。

書道展賞は、塩田明里さん、近藤祐加さん（日本文学3）。

芸文系クラブ発表会 400人余の来場者

文化会は第三十三回芸文系クラブ発表会を「無我夢中！芸文しやがれ!!」のテーマで七月九、十日に行い、四百人余の来場者があった。

芸文系クラブ発表会での和楽部㊧と混声合唱団

芸文系十五クラブが、演奏（吹奏楽団・軽音楽部・和楽部・混声合唱団・ギターアンサンブル・フォークソングクラブ）、公演（演劇部）、ムービー（シネマクラブ）、展示（漫画研究会・美術部・写真部・書道部・囲碁倶楽部）、部長トーク（茶道部、司会放送部など）による発表を全力で行った。テーマ通り、勢いと熱気のある発表会となった。（芸文委員長・言語表現4・重野　峻輔）

リーダーズキャンプ テーマは「きっかけ」

文化会は八月三十一日―九月二日、愛知県蒲郡市で「きっかけ」をテーマにリーダーズキャンプを行い、百二十二人の文化会員が参加した。

蒲郡で行われたリーダーズキャンプ

初日の夕食時には各クラブの自己紹介を、二日目には旅行業界でカリスマ的存在の日本旅行・平田進也氏をお招きし、学生生活、社会生活においてのリーダーシップとは何かをテーマに講演会を開いた。交流を図るためにグループディスカッションやウォークラリー等も行った。

リーダーズキャンプを通して得た知識や経験、作り上げた人間関係が、今後の文化会活動や学生生活に良い影響をもたらす「きっかけ」となることを役員一同願っている。

（企画運営局長・英米文化4・日比　理貴）

中京大学金山まつり 14団体が成果を披露

文化会は八月六日、中京大学文化市民会館プルニエホールで金山まつりを催した。

ホールを丸一日貸し切りにして、ステージ発表五団体、ロビーでの展示発表九団体の計十四団体が日頃の成果を披露した。普段は豊田と名古屋のそれぞれのキャンパスで活動している団体が、一堂に行う発表会は金山まつりのみで、各団体が刺激を受け、良い影響を与えている。

来場者数は約三百二十人で前年より多かったが、十分とは言えないので、どのように来場者を増やしていくかが来年以降も課題となる。

（広報局長・法律3・原田　駿一）

中京大学金山まつりの軽音楽部のステージ

文化会講演会

「青少年のターニングポイント」

文化会は、金山まつりのイベントとして八月六日、漫画家の三田紀房氏を講師に迎え、講演会を開催した。三田氏は「ドラゴン桜」「銀のアンカー」などの代表作で知られている。

三田氏は、受験や就職など青少年が迎えるターニングポイントで我々は何をするべきかを、場を和ませながら親しみやすい口調で話された。常識を追い求めるのではなく、逆の立場で考えるなど、違う視点の切り口も重要だと話された。

常識にとらわれていた心が、すっと自由になったような心地いい気分になった。

（学術委員長・心理4・古川　諒）

漫画研究会の展示

室伏広治選手が金メダル

世界陸上

室伏選手

室伏広治選手（スポーツ科学部准教授、ミズノ）が8月29日、陸上の世界選手権ハンマー投げ決勝で81m24の今季自己ベストを出し、初の世界選手権優勝を果たした。この結果により、来年のロンドン五輪代表選手に内定した。

室伏選手は、決勝六投のうち、80m台を四度出すなど、抜群の安定感で他を圧倒した。三十六歳三百二十五日での優勝は、世界選手権男子の全種目を通じて史上最年長の快挙。室伏選手は「この年齢までチャレンジできるのは多くのサポートがあってこそ」と語った。

世界選手権の成績は、二〇〇一年（エドモントン）の銀メダルがこれまでの最高。今回の優勝で、日本初のオリンピック（二〇〇四年アテネ）と世界陸上の両方で金メダルを獲得した陸上選手という偉業を達成した。

安部孝駿選手 準決勝進出ならず

陸上競技部の安部孝駿選手（体育2）は4百mハードルに出場し、51秒90で予選敗退。市川華菜選手（体育3）は4百mリレーの控え選手で出場機会はなかった。

世界水泳

松田 丈志選手 2007年体育卒

200mバタフライで銀

水泳の世界選手権（中国・上海、7月16―31日）に、在学生一人、卒業生二人の計三人の本学関係者が出場した。

松田丈志選手（〇七年体育卒）は、日本代表チームのキャプテンとして今大会に臨み、2百mバタフライで1分54秒01のタイムで銀メダルを獲得。8百mリレーにも第一泳者として出場し、7分10秒92で7位入賞を果たした。4百mリレーは予選敗退。

長谷川菜月選手 リレー7位入賞

今春、体育学部を卒業した長谷川菜月選手は、4百mリレーの第四泳者で出場し、3分39秒55で7位入賞を果たした。百m自由形は予選敗退。

冨田尚弥選手は 2百平準決勝敗退

体育学部4年の冨田尚弥選手は、2百m平泳ぎに出場し、準決勝12位で決勝には進出できなかった。

日本学生選手権

水泳部女子が初優勝

水泳部女子が、第八十七回日本学生選手権水泳競技大会（9月2―4日、横浜）で初の総合優勝を飾った。

雨宮末侑選手（体育2）が50m自由形で、小野口由夏選手（体育4）が2百m自由形で優勝するなど、初日から学校対抗でトップを走った。最終結果は、学校対抗得点354・5点を獲得し、2位の日本体育大（349・0点）の猛追を退けた。

昨年の覇者男子 惜しくも2位

昨年、総合で初優勝し、連覇を目指した水泳部男子は、伊藤健太選手（体育3）が百m自由形で日本歴代2位となる48秒78の大会新記録で優勝。4百mメドレーリレー（白井裕樹、冨田尚弥、前田浩史、伊藤健太）でも優勝するなど、一時トップに立ったが、中央大に逆転を許し、惜しくも2位だった。

陸上インカレ総合

男子3位、女子8位

陸上競技部が第八十回日本学生対校選手権大会（9月9―11日、熊本県）で、男子は総合3位、女子は8位となった。

男子は昨年7位に終わったが、今年は2百m、4百mハードル、4百mリレー、16百mリレー、棒高跳、十種競技で上位に入賞し、総合得点（67点）で優勝した早稲田とは2点差だった。

女子は昨年4位から後退した。

帯広で水泳教室 冨田選手ら指導

校友会本部と同窓会十勝支部は九月二十三日、北海道帯広市の市民プールで、水泳教室を開き、中京大学水泳部監督の高橋繁浩教授と現役選手たちが小学生ら約百二十人を指導した。

地元の同窓生らの要望で実現した。高橋教授が講演で基礎練習の大切さを分かりやすく説明、広州アジア大会二百m平泳ぎ優勝の冨田尚弥選手（体育4）、帯広三条高校出身の竹森奨選手（体育2）が模範の泳ぎを見せた。続いて、子供たちは種目別に実技の指導を受けたが、世界選手権代表にもなった冨田選手のアドバイスに感激していた。

この水泳教室の模様は翌日、地元の十勝毎日新聞で紹介された。

ダンス部

3年連続特別賞

体育会ダンス部が第十四回Artistic Movement in TOYAMA 2011（9月17―19日、富山県）に出場し、三年連続の特別賞を受賞した。

受賞作品（写真）は、「哀しみを聞く樹」のタイトルで、人が話した哀しみを黙って静かに受け入れる樹が、哀しみを全て抱えた後に枯れてしまうというストーリーになっている。

大会には全国から四十校六十七チームが参加。特別賞は、表現芸術の世界から未来を予測させるダンスの動きと空間の美しさを演技したチームに贈られる。

「晴地舞」が奨励賞

豊田キャンパスの現代社会・情報理工・体育学部の学生七十人で構成されたよさこいサークル「晴地舞（はちまえ）」が、第十三回にっぽんど真ん中祭り（八月二十六―二十八日、名古屋市）で奨励賞を獲得した。

結成六年目の今回は、「軌轍（きてつ）」をテーマに豊田市のものづくりの活気、国際色豊かな街並みをサンバのリズムに乗せて表現。参加二百十チームが十グループに分かれ、晴地舞はグループ二位通過でファイナルシード決定戦に出場し、満員の観客を前に演舞を披露した（写真）。

代表の鈴木陽介さん（機械情報3）は「ストンプや群読といった新しい演出の要素を取り入れ、個性溢れる作品に仕上がった。真剣ゆえに衝突も多かったが本番では心を一つに踊りきることができた」と語った。

アルティメット部（女子） 全日本学生2連覇

アルティメット部の女子チームが、第二十二回全日本学生選手権大会（8月31日―9月1日、静岡県）で優勝し、二連覇を達成した。

同大会での優勝は八回目。最優秀選手に新井真菜美選手（体育4）が、ベスト7には新井選手のほか、丸山由紀選手、纐纈桜子（ともに体育4）が選ばれた。

ソフトボール部（男子） インカレでベスト4

ソフトボール部の男子が、文部科学大臣杯第四十六回全日本大学選手権大会（8月27―29日、山口県）で昨年に続きベスト4に入った。女子はベスト8。

科学研究費助成事業

新規25件

採択率37・3％

二〇一一年度の科学研究費助成事業に、本学から新規二十五件（学術研究助成基金助成金二十件、科学研究費補助金五件）が採択された。採択率は三七・三％（全体平均二九・一％）だった。

学部別の内訳は、情報理工学部五件、スポーツ科学部と法学部が四件、現代社会学部三件、国際英語・国際教養・経済・経営学部が各二件、心理学部一件。

研究種目別は、先駆的で全体の中核となる「基盤研究」に十三件、高い目標を設定した芽生え期の「挑戦的萌芽研究」に四件、三十九歳以下の「若手研究」に五件、公開を目的にした学術図書、データベースの制作「研究成果公開促進費」に二件、研究機関に採用されたばかりの研究者を対象にした「研究活動スタート支援」一件。

本学には、十一学部十七学科の教員三百十四人が在籍し、多岐にわたる研究に取り組んでいる。科学研究費助成事業などの公的研究資金の助成を受けて進める研究のほか、産学連携による共同研究にも力を注いでいる。

学術研究助成基金助成金は、研究費の柔軟な執行を可能にするために、今年度新設された。基金化することで、複数年間の研究期間全体で確保された研究費を会計年度による制約なく、研究の進展に合わせての使用が可能になった。科学研究費補助金は、単年度ごとの予算化と執行が義務付けられている。

政府の研究助成金の五割以上を占める科学研究費助成事業は、研究者の自由な発想に基づく学術研究の一層の発展を目的にした競争的資金。科学の種をまき、芽を育て、日本の科学技術力を高める上で大きな役割を担っている。

2011年度 科学研究費助成事業（新規採択分）

■学術研究助成基金助成金

（単位：千円）

所属・氏名	研究課題名	補助金額	研究種目
国際英語学部教授 吉川　寛	アウターサークル英語との接触が日本人の英語学習に与える教育効果の検証	1,600	基盤研究(C)
国際英語学部准教授 森　有礼	大戦間のアメリカ南部における身体表象と人種的及び性的ハイブリディティ	600	基盤研究(C)
国際教養学部教授 都築　雅子	日本人英語音声に関するリンガフランカ中心特性の特定	1,900	基盤研究(C)
現代社会学部教授 大友　昌子	東アジアにおける福祉文化的基盤の比較研究	1,300	基盤研究(C)
現代社会学部教授 川田　牧人	宗教実践と消費文化の人類学的研究―フィリピン民衆キリスト教の聖具消費と流通	1,100	基盤研究(C)
法学部准教授 小坂田裕子	環境と開発における先住民族の法的地位の再検討－国際法形成過程変容の多面的考察	800	基盤研究(C)
情報理工学部教授 上林　真司	見通し外（ＮＬＯＳ）環境におけるＵＷＢ信号による位置推定法の研究	3,300	基盤研究(C)
情報理工学部教授 沼田　宗敏	高速Ｍ推定を用いた３次元表面粗さ用ローパスフィルタの開発	1,400	基盤研究(C)
情報理工学部教授 橋本　学	時空間的ユニーク情報に基づく高速・ロバストな画像計測法に関する研究	1,300	基盤研究(C)
情報理工学部准教授 白水　始	未来の学習を準備する協調的発見学習の理論構築	1,500	基盤研究(C)
スポーツ科学部教授 梅村　義久	メカニカルストレスが骨から分泌されるホルモンに及ぼす影響	1,500	基盤研究(C)
国際教養学部教授 神田　和幸	補聴サインの研究：難聴者・中途失聴者の手話	1,600	挑戦的萌芽研究
心理学部助教 犬飼　朋恵	月経周期と注意制御機能の統合的メカニズムの解明	1,300	挑戦的萌芽研究
スポーツ科学部教授 近藤　良享	遺伝子ドーピング問題の応用倫理学的研究	900	挑戦的萌芽研究
スポーツ科学部准教授 柿山　哲治	明治期の長崎活水女學校に導入された新式体操の解明	1,300	挑戦的萌芽研究
現代社会学部准教授 松谷　満	ポピュリズム型住民運動にみる地域民主主義の新展開―河村名古屋市政の実証研究	1,900	若手研究(B)
経済学部准教授 古川　雄一	知的財産保護が経済成長に与える影響に関する定性および定量分析	1,100	若手研究(B)
経済学部講師 都丸　善央	国家貿易企業に関する貿易理論～民間業者参入と民営化の効果分析～	800	若手研究(B)
経営学部講師 山﨑喜代宏	製品コンセプトの変動とそのパターンに関する論理の探求	900	若手研究(B)
スポーツ科学部講師 田内　健二	やり投動作を指導するためのガイドラインの作成	1,200	若手研究(B)

■科学研究費補助金

（単位：千円）

所属・氏名	研究課題名	交付決定額	研究種目
経営学部教授 銭　佑錫	日本多国籍企業の「創造型」海外子会社に関する研究：国際比較の視点から	4,300	基盤研究(B)
情報理工学部教授 目加田慶人	コンテクスト推定に基づく医用画像からの臓器・病変検出	3,900	基盤研究(B)
法学部講師 京　俊介	著作権政策の多国間比較分析	700	研究活動スタート支援
法学部講師 京　俊介	著作権法改正の政治学	700	研究成果公開促進費（学術図書）
法学部教授 檜山　幸夫	台湾総督府文書目録データベース	6,100	研究成果公開促進費（研究成果データベース）

動作の得意・不得意

脳の活動で判定可能

荒牧 勇准教授らが解明

大脳基底核

荒牧准教授

スポーツ科学部の荒牧勇准教授らによる研究チームは、両手運動の開始時における大脳基底核の脳活動が、運動継続時における運動の不安定性に強く相関することを発見した。この研究成果は、米科学誌『ジャーナル・オブ・ニューロサイエンス』のオンライン速報版で七月六日に公開された。

荒牧准教授らは、運動開始直後の行動からは観察しにくい、将来の動作不安定性の個人差を脳の活動から判定することを試みた。その結果、数十秒後の運動が大きく乱れる人ほど、運動開始時の大脳基底核被殻前部の活動が強いことがわかった。

一見うまくこなしているように見えても、「無理をして」いるのか、「余裕を持って」こなしているか、という得意・不得意を動作が乱れる前に脳活動から判定できる可能性を示した。

これを応用すれば、ある動作に対する脳への負荷を個人ごとに評価できる。障害者のリハビリでの回復の程度、スポーツ選手の技能習熟度、高齢者の日常動作の困難度の評価などが考えられ、トレーニング計画の設定やヒューマンエラーの防止などに貢献できると期待されている。

加納政芳准教授ら

人工知能学会優秀賞

情報理工学部の加納政芳准教授らが第二十五回人工知能学会全国大会で発表した論文が七月十五日、同学会優秀賞に選ばれた。

タイトルは「ベビロイドと高齢者の共生から見えてきたもの」。加納准教授のほか、情報理工学部の種田行男教授と清水優准教授、東邦大学医学部の講師らとの共著論文。

ベビロイドは加納准教授が市販化を目指している赤ちゃん型ロボットで、健康障害や精神不安の高齢者ら要介護者の「介護されるストレスの緩和」を目的に開発。二〇〇八―一〇年度の科学研究費補助金（若手研究Ａ）、二〇一〇年度の愛知県次世代ロボット実証支援事業にも採択され、研究や改良を進めてきた。

受賞論文は、高齢者福祉施設で行ったベビロイドによる介入実験で、抑うつ症状に対して有意傾向が認められた点が高く評価された。

加納准教授はベビロイドの実用化に向け、「被験者数を増やし、中長期的な介入実験を行い、医学的なエビデンスを蓄積していきたい」と話している。

3年生の保護者向け 就職セミナー初開催

就職活動の実情を保護者に伝える初のセミナー

教育後援会とキャリアセンターは九月十七日、愛知県内に住む三年生の保護者を対象にした就職セミナーを名古屋キャンパスで開いた。保護者向けに学生の就職活動の実情を伝えるセミナーの開催は初めて。

約千七百人に案内し、二百二十四人が参加した。

安村仁志副学長は、「教職員を挙げて就職をサポートしているが、保護者の役割も大切。本人の自主性を尊重しつつ、今日の状況に合ったアドバイスが必要です」と挨拶し、大学、学生、保護者の連携の必要性を訴えた。

会社説明会や会社訪問の開始時期は、今年から経団連の方針により二カ月遅れの十二月となる。一方で、エントリーシート等の書類選考は、従来どおりの年明け開始のため、学生が企業研究などの事前準備に十分な時間がとれない可能性も指摘されている。

セミナーでは、リクルートの岡崎仁美・リクナビ編集長が、こうした就職活動の動向と対策を説明。増田栄太郎・キャリアセンター部長は、保護者が助言する際のポイントや、学生に対する大学のサポート体制などを分かりやすく話した。

参加した保護者は「今の就職活動がどうなっているか理解できてよかった」「子供にアドバイスする上で役立った」などの感想が多く、個別相談コーナーでより詳しく聞く人も目立った。

オープンカレッジ書道展 受講生47人の成果披露 Cスクエアで初開催

オープンカレッジで書道を学ぶ受講生たちの代表作品を披露する「第一回オープンカレッジ書道講座作品展」（写真）が、九月十三日から十七日まで、アートギャラリー・Cスクエアで開催された。

今年春学期の書道講座に参加した三クラスの四十七人が、一人一点ずつを掛け軸にして出品した。春秋の講座を継続して受講している人が多く、「日ごろの研鑽を自由なスタイルで表現した」（山際雲峰講師）、見事な出来栄えの作品が並んだ。

展示期間中、近隣の書道愛好者ら約二百四十人が会場を訪れ、受講生の成果を示す作品に見入っていた。

公開講座

文化・芸術・教育シリーズ㊽

美術は身体とどう向き合ってきたか ～古代から現代まで～

名古屋ボストン美術館館長 **馬場　駿吉さん**

原始より身体は重要テーマ 近代は作家の身体表現様々

「世界最古のビーナス像は、三万五千年前にマンモスの牙を彫ったもの。豊穣や多産の願いを込めたのであろう、豊満な女性をかたどっている。原始より、身体は美術作品の重要なテーマの一つだったということだ」

「古代オリエント、エジプト、ギリシャ・ローマ時代はとくに、彫刻で美の極致としての身体を追求した」

「西洋美術史上、身体への向き合い方が非常に希薄だったのが中世。キリスト教やイスラム教における偶像崇拝禁止が影響してのこと。

一方、中世の東洋美術には強烈な身体表現が見られる。インドでは豊満な女神像、日本では優雅な身体の動きを見せる菩薩像、筋骨隆々たる金剛力士像等を創り、寺院に奉納している」

「そして、いよいよ身体への関心が高まったルネッサンス期。ダ・ヴィンチは、身体を描くにはその内部を知る必要があると考え、科学的な立場で人体解剖を行い、詳細な解剖図を残した。ミケランジェロの〝ダビデ像〟も身体のバランスや細部をきちんと表現している」

「こうして身体を忠実に描くことが広まったが、近代には転換期を迎え、作家たちは身体表現について様々に追求し始める。ピカソの、立体主義の手法による身体描写もその一つ。

併せて、画家たちが重視したのが自画像。自我なる概念が生まれ、自分やその身体との対峙が始まった」

「現代では、錯視現象を利用した絵画、直接身体に刺激を与える建築など、見る側の感覚に訴える作品が出てきている」

「また、現代美術は身体の部分にもこだわる。

私は〝耳〟の彫刻に出会い、それに刺激を受け、耳介形成術に取り組んだ」

「人間は、科学や芸術や哲学の世界から影響を受けることで、新たな行動を起こすものだ。

昨今の日本の状況を見るにつけ、人間と科学、人間と芸術、人間と哲学といったことを今一度考え直してはどうかと思うのだが…」

（6月15日・名古屋キャンパス431教室）

中京大学 公開講座

経済・経営シリーズ 第64回

「景気シンポジウム・来年の経済見通し」

【日時】12月6日㈫14:30～16:30

【場所】中京大学文化市民会館オーロラホール（名古屋市中区金山1-5-1）

【主催】中京大学、中部経済同友会　【後援】中日新聞社

箕浦 輝幸氏　紀村 英俊氏　佐々 和夫氏　伊藤 清道氏　奥野 信宏氏

【コーディネーター】
奥野 信宏氏（梅村学園理事・中京大学総合政策学部教授）

【パネリスト】
箕浦 輝幸氏（中部経済同友会代表幹事・トヨタ紡織会長）
紀村 英俊氏（経済産業省中部経済産業局長）
佐々 和夫氏（三菱東京UFJ銀行顧問）
伊藤 清道氏（中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科長・経営学部教授）

●お申し込み方法／往復はがき、ファックス、または 本学ホームページに、郵便番号、住所、氏名、電話番号および受講日を明記し、エクステンションセンター（〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2）までお送りください。開催1週前までに「受講票」をお送りします。電話や電子メールでのお申し込みはできません。

●問い合わせ先／中京大学エクステンションセンターTEL 052-835-7216　FAX 052-835-3980

同窓会　国内外で活発

全国同窓会　下関で80人が参加

第二十七回中京大学全国同窓会が十月一日、国体開催地・山口県の下関市で開かれ、各地から集った同窓生をはじめ大学関係者、同窓会関係者ら約八十人が参加して親睦した。

川岸信一同窓会長、浜岡藤生山口県支部長の挨拶の後、本年四月に就任した小川英次理事長は「初めて理事長としての全国同窓会だが、梅村学園、中京大学は私が奉職した十七年前と変わらず活力に溢れ、近年はそれまで以上の力強いステップで前進している。変わらぬご支援をお願いしたい」と謝辞を述べた。

北川薫学長は建学六十周年に向けた教学の決意を述べ、同窓会の更なる発展を誓い合って梅村清英同窓会副会長・理事の乾杯の音頭で懇親会に。次期開催地岐阜県の山脇義宏支部長の再会を約束する挨拶をはさんで賑やかに歓談、意見交換した。

下関市で開かれた全国同窓会で謝辞を述べる小川理事長

カナダ支部設立　海外では4番目

中京大学同窓会の四番目の海外支部となるカナダ支部の設立総会が八月二十七日、バンクーバー市内のホテルで開催された。総会には十人の会員と、現地の支援者で同窓会顧問に就任した山下俊忠氏（元リッチモンド日産会長）、上遠野和彦氏（リステルカナダ副社長）が参加。大学からは梅村清英理事、朝子邦松事務局長、片岡武司校友会本部長が出席した。

総会では規約を承認した後、伊藤孝太氏（八八年法卒）を支部長に、野原誠治氏（〇一年体育卒）を事務局長にそれぞれ選出し、引き続き行われた懇親会にはビクトリア大学で語学研修中の本学学生三十八人と引率の溝口貴則さん（教務課）も出席した。学生たちの研修成果の報告や、支部会員の近況説明、学生への激励など、賑やかに、和やかに支部の発足を祝った。

同窓会の海外支部は台湾、アメリカ、オーストラリアにあり、校友会本部は「カナダ支部も他の海外支部と同様、中京大学の海外展開に強力な支援組織になるはず」と話している。

賑やかに行われたカナダ支部設立総会

陳全寿先生の古希祝う　台湾支部

同窓会台湾支部の懇親会が九月九日、台中市内のホテルで、同窓生二十五人が出席して行われた。この日は来賓の陳全寿先生（元体育学部教授、元台湾スポーツ大臣）の七十歳の誕生日で、大学から出席の梅村清弘最高顧問、竹尾悟同窓会副会長、小山哲スポーツ科学部教授、片岡武司校友会本部長らが「古希」を祝った。

台湾の同窓生は体育大学の教員が多く、台湾スポーツ界の指導者として活躍している。杯を傾けながら近況を報告しあい、夜遅くまで思い出話に花を咲かせていた。

陳先生を囲んで行われた懇親会

教育懇談会　全国で2,500人参加

会員となっている在学生の保護者を対象に、中京大学教育後援会（杉野邦廣会長）が毎年開催している「教育懇談会」が二〇一一年度、全国二十八会場で行われ、保護者二千五百六十人の参加をみて終了した。参加者は前年度より約百六十人多く、校友会本部（片岡武司本部長）は「十数年前の参加者規模になっており、子供の就職を相談する保護者が年々増えている」と話している。

教育後援会、同窓会の決算承認

在学生の保護者らで組織する本学教育後援会の役員会と、同窓生で組織する本学同窓会の常任理事会が5月7日、名古屋市内でそれぞれ開かれ、2010年度決算案と2011年度予算案が承認された。

2010年度 教育後援会 決算

（単位･円）

収入		支出	
前期繰越金	52,055,414	教育懇談会開催費	26,384,716
会費	172,762,500	会報発行費	6,623,080
受取利息	84,999	通信費	5,153,842
預金（振込手数料）	8,785	奨学費	8,500,000
その他収入	0	課外活動援助費	380,000
戻入金	11,030	教育厚生費	28,471,664
		各会開催費	1,334,758
		事務局運営費	1,282,792
		雑費	622,171
		学術･スポーツ活動奨励寄付金	1,000,000
		入学辞退者等会費返金費	0
		大学設備整備事業費	58,382,575
		教育事業支援準備費	29,000,000
		次期繰越金	57,787,130
合計	224,922,728	合計	224,922,728

2010年度 同窓会 決算

（単位･円）

収入		支出	
前期繰越金	52,388,373	支部同窓会開催費	37,698,125
会費	223,193,000	全国支部総会費	4,005,968
支部同窓会参加費	2,406,000	ホームカミングデー開催費	1,165,438
全国同窓会参加費	114,000	会報発行費	13,134,898
名刺交換会参加費	1,317,000	通信費	24,142,184
中京大学UCSカード販売協力金	217,696	広告費	30,000
受取利息	85,548	奨学費	44,165,100
預金（振込手数料）	12,355	課外活動奨励賞	5,400,000
その他収入	2,045,328	課外活動援助費	1,150,000
戻入金	24,316,686	記念品等作製費	12,134,210
		各会開催費	15,374,867
		事務局運営費	1,008,954
		学術･スポーツ活動奨励寄付金	2,000,000
		雑費	14,526,264
		入学辞退者等会費返金費	1,309,125
		大学設備整備事業費	0
		教育事業支援準備費	50,000,000
		次期繰越金	78,850,853
合計	306,095,986	合計	306,095,986

編集後記

「中商健児」に象徴される血気盛んな男子校だと思っていたので、女子校の時代があったことを知った時は驚いた◆戦中の昭和十九年四月、八事にあった軍需工場の一角を借りて、中京女子商業学校が始まる。第一回入学生百六十人余。〈校舎とは名ばかりの床もない土間の教室でした〉。しかし〈「真剣味」の額が掛かった教室や狭い運動場の大きな桜の木の下には青春の清らかさがありました〉（「梅村学園五十年史」から）◆大正十二年の創設以来、質実剛健の校風の下、男子五千四百人余を実業界に送り出してきた中京商業は、文部省の「男子は工業学校へ」の方針で、やむなく女子学校に転換する。昭和二十二年、新学制で男子の中京商業高等学校が発足し、女子校は三年で幕を閉じる◆今、跡地の名古屋学舎では新館二棟の建設が始まった。間もなくキャンパスは大きく姿を変えるだろう。「中商女子部」とも呼ばれた彼女たち卒業生は百九十三人。お達者であれば八〇歳半ばか。半世紀以上を経てさらに様変わりする女子校跡をぜひ見に来ていただきたい。（み）